

開催レポート

「私らしい暮らしを考える」 移住フォーラム第2弾

市では、人口減少対策の一環として、市の魅力を移住者と共有し参加者同士のネットワークづくりを目的とした、「移住フォーラム第2弾」を開催しました。参加者は40人。本市に住む移住女子を招いてのトークセッションや交流会を行い交流を深めました。

INTERVIEW
移住女子の声



■横濱久美子さん 職業：建築家（渡部環境設計事務所）

人口6万人規模で、世界的建築家の作品が3つもある街は全国にもあまりなく、アートや建築、デザインに理解がある街なのかなと思います。東京から十和田に移住しました。移住当初は心配なことも多くありましたが、さまざまなイベントで知り合った人が人を紹介してくれるなどして、東京にいた頃よりも地域の人と交流ができています。今後は本職の設計に加え、若い人が十和田に移住した時、空き家を利用して事業がしやすくなる支援もできればと思っています。

■吉田千枝子さん 職業：ライター（創作ユニット 字と図）

若い時は東京に憧れ暮らしていましたが、年齢や状況によって求めるものが変わりました。今、子育てをする母として十和田はいい街だと思います。また、移住当初は、ライターとして仕事ができると思っていませんでしたが、おかげさまで仕事できています。もし移住を検討している人がいたら、「仕事を作っていこう」と声をかけたいです。それにより人とつながり、1人じゃ難しいこともできると感じるからです。



■玉川えみ那さん 職業：奥入瀬渓流ガイド（NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会）

東京在住時に十和田湖カヌーツアーなどのアクティビティに参加し、十和田の自然に惚れて移住した人たちに魅力を教えてもらったことで、地元の素晴らしさに気づき、印象が変わりました。今住んでいる子どもたちが将来、十和田に住んでも住まなくても、地元の魅力を知っているのと、知らないのとでは違うのではないのでしょうか。今後は、ガイド業が仕事として成り立つような仕組みを作るのが目標です。

十和田市の良さを述べるゲストのトークを熱心に聞く参加者



軽食をとりながらの交流会は和やかな雰囲気

参加者の声

十和田に魅力はないと思っていましたが、自分は十和田のことを何も知らなかったと思いました。見方を変えれば世界が広がる。十和田はこれからの街だと感じました。（30代女性）

大きすぎず小さすぎず、ちょうどいい規模のこの街ならではの「子育てのしやすさ」をPRすることで、移住者が来てくれるのではと感じました。（30代女性）



移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」で、移住フォーラムの様子を詳しく見てみよう！

